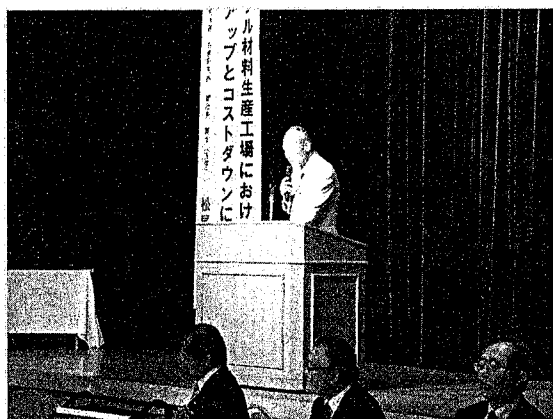




第13回研究成果発表会を開催 日本建設技術

日本建設技術（原裕社長、佐賀県唐津市）は4月9日に唐津シーサイドホテルで、毎年恒例の「第13回 研究成果発表会」を開催した。この1年間の成果を発表すると共に、社員に対する表彰や新入社員の紹介も行われた。



冒頭で原社長が「現在は地方の企業でもやれる時代。研究開発型企业として挑戦し続ける」とあいさつ。続いて来賓として登壇した大場芳博佐賀県議会議員が「目標に向かって進んでいることを確認するのが、研究成果発表の意義。ますます貴社の発展を祈っています」と激励の言葉を述べた。その後、原社長が「2015年度のあゆみと東京オリンピックに

向けて」と題して発表。続いて企画開発戦略本部 技術研究所の松尾保成副所長が「ミラクルソル材料生産工場における生産アップとコストダウンについて」と題して発表を行った。それぞれの発表に対し、佐賀大学の荒木宏之低平地沿岸海域研究センター長は「技術経営が健全に行われていることを証明している」と評価した。第二部ではホテル内で懇親会が行われ、佐賀県選出の古川康衆議院議員や山下雄平参議院議員などがかけつけた。